温暖化対策部会（H25.8.19）での指摘に対する対応について

資料１－１

|  |
| --- |
| 予算額が0円という記載が並んでいると、対策として何も実施していない印象を受ける。予算額0円のものでも、実施している対策の内容を具体的に記載してほしい。また、数値目標を記載していないものについても文章で記載するなどして、実行計画の進捗内容がわかるようにしてほしい。 |

＋

|  |
| --- |
| 公共交通のシームレス化については、数値目標には入れていないが、重要な項目ということで重点施策という位置付けにされたと思うが、関連する公共交通の利用促進事業の予算がゼロということはどういうことか。重点施策として掲げたものについては、実際に何をしているのかわかるようにすることが必要である。 |

⇒　事業内容の列を追加し、予算額が0円のものについてもできるだけ具体的に記載した。数値目標のない「公共交通等の利用促進（重点施策）」などについても、施策・事業名だけでなく、その事業内容と現状について記載した。【資料1-2参照】

|  |
| --- |
| 資料２－２について、対策項目の実施状況について、〇、×、△の評価が記載されているが、資料を見ただけでわかるようにしてほしい。 |

⇒　評価欄に○（達成又は達成見込み）、△（現時点で達成可能か判断できない）、×（達成困難）と記載し、その評価理由か課題の列を追加した。【資料1-2参照】

|  |
| --- |
| LED道路照明灯について、導入による温室効果ガス削減量の概算が示されているが、道路照明は元々効率が良いものが使われているので本当に削減が図れているのか確認をしてほしい。 |

⇒　ナトリウム灯（210W）、水銀灯（400W）からLED（99W未満相当）に更新している。

　　また、大阪府における道路照明灯LED化事業として、国内クレジットの認証を受けている。排出削減量：1,994t-CO2（2012年5月22日～2013年3月31日）

【資料1-2参照】

|  |
| --- |
| 道路関係では、信号機のLED化のほうがより効果が大きいと思うが、対策メニューにあがっていないのはなぜか。 |

⇒　信号機は365日24時間常時発光しており、LEDに更新すると消費電力は1/5程度となることから、道路照明灯よりも効果は大きいのは確かである。信号機は大阪府警が所管しており、毎年、予算額に応じてLED化された信号機が設置されている。次期計画では大阪府警とも調整の上、対策メニューとしてどのような形で挙げられるか検討する。

　　公表値としては、都道府県別交通信号機等整備数（2005年度末）の数値が最後で、LED化率を見ると、大阪府では車両用信号灯が17.2％、歩行者用信号灯が13.1％となっている（全国平均　車両用信号灯が12.8％、歩行者用信号灯が5.3％）。